

株式会社ハニーズホールディングス  
2023年5月期(第45期)決算説明会

**Honeys Holdings**

2023年7月11日(火)

# 2023年5月期(第45期)決算のポイント

Honeys

## ■連結

- ⇒ 売上高548億88百万円(前期比115.1%、計画比105.6%)  
自粛傾向の緩和、外出機会の増加、人流回復で客数も伸長。
- ⇒ 売上総利益率60.9%(前期比+0.6%)  
アセアン生産維持とミャンマー生産効率向上で高い売上総利益率を維持。
- ⇒ 原材料高や円安進行で仕入コストは上昇、一部商品へ価格転嫁も値上げは最小限に。

## ■EC事業

- ⇒ 売上高55億6百万円(前期比121.4%)
- ⇒ EC化率は前年9.5%から10.0%(+0.5%)に拡大。
- ⇒ 「店舗受取」機能の利用は順調。
- ⇒ WEB広告、SNS等を活用したコーディネート提案、WEB限定や店舗との合同イベントの随時開催など、積極的に販促活動を実施。

## ■ミャンマー事業

- ⇒ 引き続き生産効率の向上に努め、安定的な商品供給体制を維持。
- ⇒ 現地通貨安で物価高は継続、燃料価格が高騰。
- ⇒ 原材料や資材の集約、閑散期の活用など計画的に生産を維持。
- ⇒ 輸出入状況は安定、輸送遅延は解消。海上輸送コストは値下がり傾向。

# 損益計算書(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	22/5			23/5				
		売上比	前期比		売上比	前期比	見通し(1/6発表)	計画比
売上高	47,695	100.0%	105.1%	54,888	100.0%	115.1%	52,000	105.6%
売上総利益	28,741	60.3%	107.1%	33,432	60.9%	116.3%	31,000	107.8%
販管費	23,748	49.8%	103.0%	25,761	46.9%	108.5%	25,000	103.0%
うち人件費	9,896	20.7%	100.8%	10,745	19.6%	108.6%	-	-%
うち店舗使用料	5,937	12.4%	103.2%	6,322	11.5%	106.5%	-	-%
営業利益	4,993	10.5%	132.5%	7,670	14.0%	153.6%	6,000	127.8%
営業外損益	64	0.1%	31.4%	350	0.6%	546.1%	-	-%
うち為替差損益	▲72	▲0.2%	-%	201	0.4%	-%	-	-%
経常利益	5,057	10.6%	127.3%	8,021	14.6%	158.6%	6,100	131.5%
特別損益	▲118	▲0.2%	-%	▲231	▲0.4%	-%	-	-%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,255	6.8%	135.4%	5,336	9.7%	164.0%	3,900	136.8%

(注) 特別損失として、減損損失165百万円・固定資産除却損66百万円等、計231百万円を計上しております。

※ 2023年5月期年間配当につきましては、1株当たり50円【中間配当20円、期末配当30円(予定)】となっております。

# 損益計算書(日本セクター)

Honeys

(単位:百万円)

	22/5			23/5		
		売上比	前期比		売上比	前期比
売上高	47,695	100.0%	105.1%	54,888	100.0%	115.1%
売上総利益	28,358	59.5%	105.7%	33,190	60.5%	117.0%
販管費	23,680	49.7%	103.0%	25,679	46.8%	108.4%
うち人件費	9,856	20.7%	100.8%	10,696	19.5%	108.5%
うち店舗使用料	5,937	12.4%	103.2%	6,322	11.5%	106.5%
営業利益	4,677	9.8%	122.3%	7,510	13.7%	160.6%
営業外損益	66	0.1%	36.1%	34	0.1%	52.4%
うち為替差損益	▲62	▲0.1%	-%	▲75	▲0.1%	-%
経常利益	4,744	9.9%	118.3%	7,545	13.7%	159.0%
特別損益	▲75	▲0.2%	-%	▲231	▲0.4%	-%
当期純利益	3,040	6.4%	124.8%	4,955	9.0%	163.0%

(注) 特別損失として、減損損失165百万円・固定資産除却損66百万円等、計231百万円を計上しております。

# 収益認識影響額

Honeys

(単位:百万円)

	22/5			23/5				
		影響額	影響除く		影響額	影響除く	前期差	前期比
売上高	47,695	164	47,531	54,888	478	54,410	6,878	114.5%
売上総利益	28,741	164	28,577	33,432	478	32,954	4,376	115.3%
売上総利益率	60.3%	-	60.1%	60.9%	-	60.6%	0.5%	-
販管費	23,748	▲183	23,932	25,761	▲200	25,961	2,029	108.5%
営業利益	4,993	347	4,645	7,670	678	6,992	2,346	150.5%
経常利益	5,057	347	4,709	8,021	678	7,343	2,633	155.9%

## ■引き続き、商品の生産・供給体制を維持

- ⇒ 収益は計画どおりに着地。  
売上高前期比112.2%(計画比100.0%)
- ⇒ 商品の安定供給に貢献。
- ⇒ 生産効率の向上、自社工場含むミャンマー生産割合の増加。
- ⇒ 輸出入状況は安定、輸送遅延は解消。

## ■製造原価への影響

- ⇒ 生地等の原材料は集約し、スケールメリットを活かしてコスト抑制。
- ⇒ 輸送コストは値下がり傾向。
- ⇒ 現地物価高で燃料価格が高騰、電力不足もあり自家発電用オイルの使用量が増加。

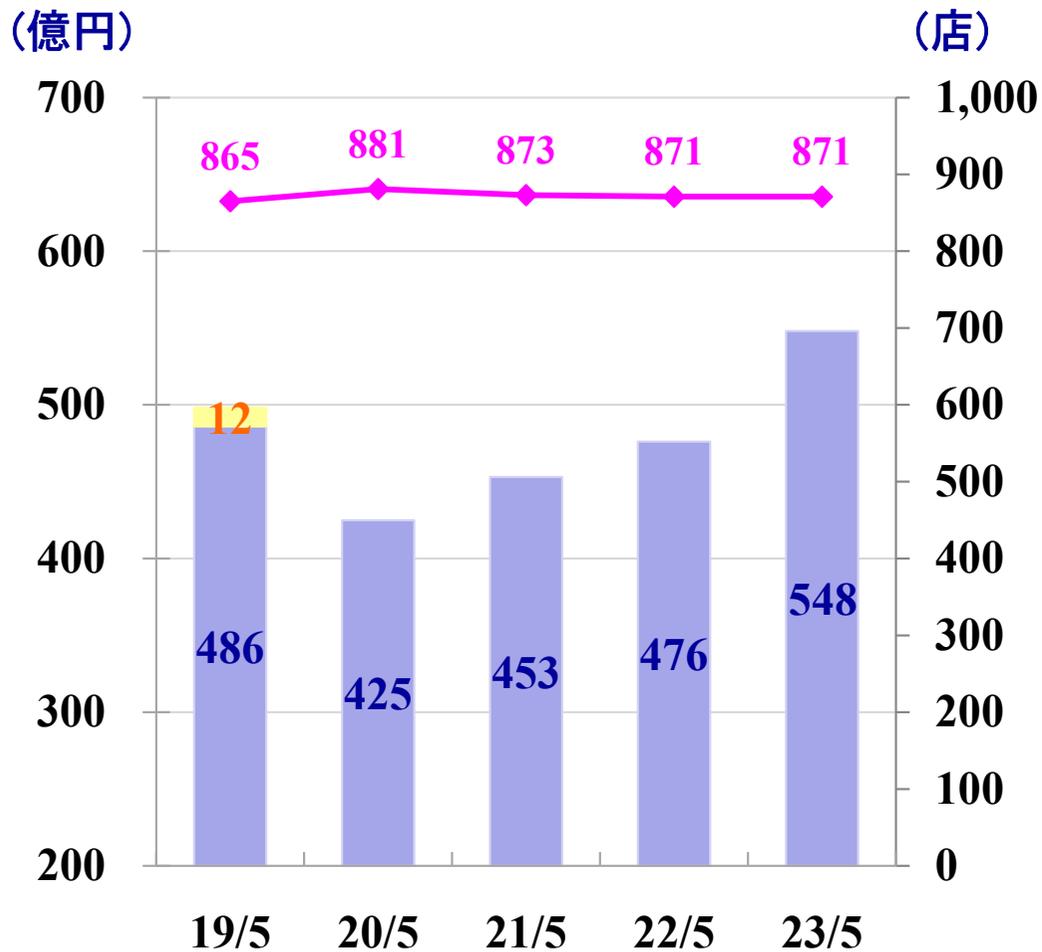
# 四半期決算の推移(連結)

(単位:百万円)

	23/5				
	1Q (6~8月)	2Q (9~11月)	3Q (12~2月)	4Q (3~5月)	通期
<b>売上高</b> (年間売上構成比)	<b>11,806</b> (21.5%)	<b>14,260</b> (26.0%)	<b>11,417</b> (20.8%)	<b>17,404</b> (31.7%)	<b>54,888</b> (100.0%)
<b>売上総利益</b> (売上総利益率)	<b>6,963</b> (59.0%)	<b>8,572</b> (60.1%)	<b>6,601</b> (57.8%)	<b>11,295</b> (64.9%)	<b>33,432</b> (60.9%)
<b>営業利益</b> (営業利益率)	<b>967</b> (8.2%)	<b>2,117</b> (14.8%)	<b>444</b> (3.9%)	<b>4,140</b> (23.8%)	<b>7,670</b> (14.0%)

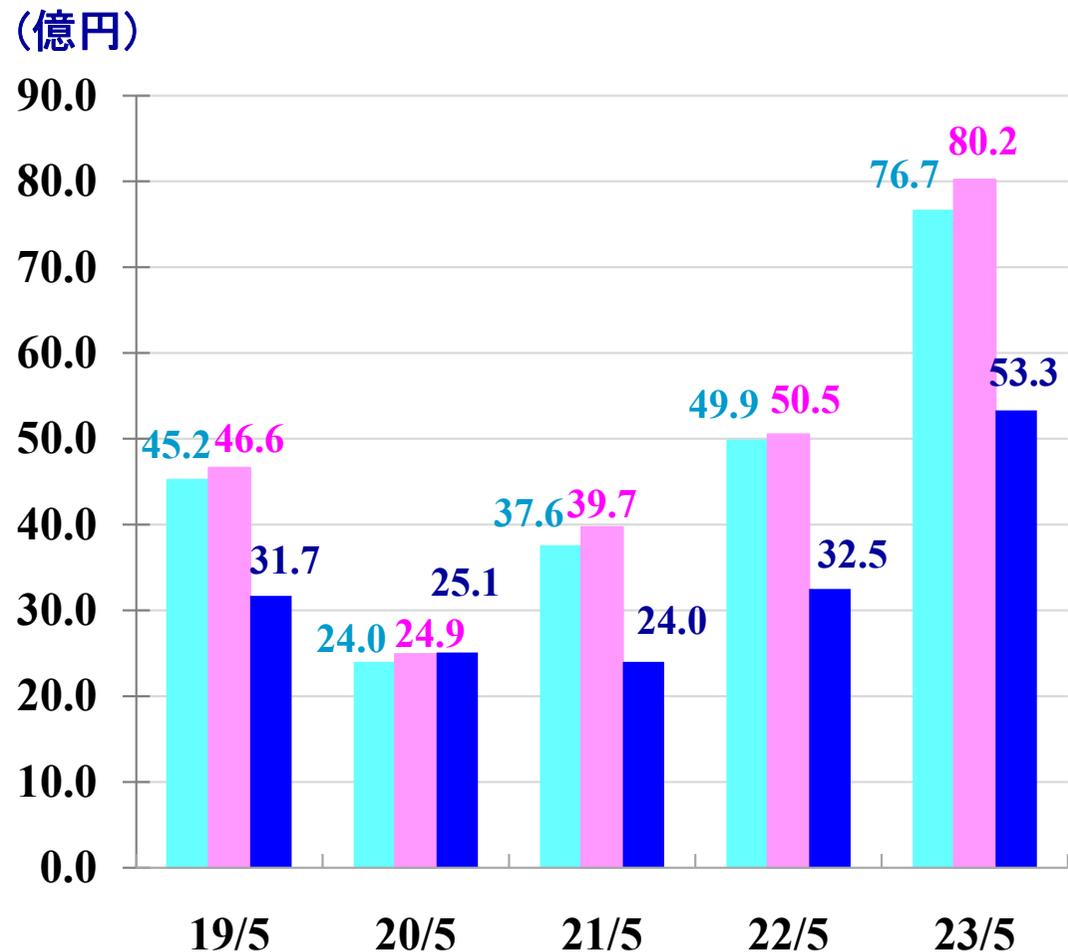
# 2023年5月期 決算概要(連結業績推移)

## 売上高・店舗数の推移



- 中国売上高 (左軸)
- 国内売上高 (左軸)
- ◆ 国内5月末店舗数 (右軸)

## 利益の推移



- 営業利益
- 経常利益
- 当期純利益

# 店舗数と出退店の状況

		23/5						
		1Q (6~8月)	2Q (9~11月)	上期 (6~11月)	3Q (12~2月)	4Q (3~5月)	下期 (12~5月)	通期
出	店	2	12	14	2	10	12	26
退	店	7	8	15	7	4	11	26
改	装	8	9	17	7	11	18	35

2023年5月末店舗数	871
-------------	-----

# 客数・客単価

Honeys

(前期比%)

		20/5	21/5	22/5	23/5
直 営 店	売 上	87.6	106.6	104.7	113.9
	客 数	87.8	107.1	98.6	102.6
	客 単 価	99.7	99.5	106.2	111.0
	I 単 価	99.9	94.1	105.1	112.6
	一人あたり買上点数	99.8	105.7	101.1	98.6
既 存 店	売 上	87.1	105.8	105.0	113.1
	客 数	87.3	106.2	99.0	102.0
	客 単 価	99.8	99.6	106.1	110.8
	I 単 価	99.7	94.0	104.9	112.3
	一人あたり買上点数	100.1	105.9	101.2	98.7

# ブランド別売上高

Honeys

(単位: 百万円)

	22/5		23/5		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
グ ラ シ ア	15,089	31.8%	17,623	32.4%	116.8%
シネマクラブ	14,439	30.4%	15,881	29.2%	110.0%
コ ル ザ	12,679	26.7%	14,381	26.4%	113.4%
雑 貨	5,221	11.0%	6,174	11.4%	118.3%
そ の 他	75	0.1%	326	0.6%	431.5%
合 計	47,506	100.0%	54,386	100.0%	114.5%

# 販管費対売上高構成比(連結)

(単位:%)

	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5
人件費	20.1	22.0	21.6	20.7	19.6
店舗費	21.3	22.1	21.3	20.7	19.3
減価償却費	1.7	2.1	1.9	2.0	1.9
その他	5.5	6.5	6.0	6.4	6.1
販管費計	48.6	52.7	50.8	49.8	46.9

(注)店舗費は広告宣伝費や水道光熱費等も含めた管理上の数値を記載しております。

# 貸借対照表(連結)

Honeys

(単位:百万円)

	22/5		23/5		
		構成比		構成比	前期比
<b>流動資産</b>	<b>27,814</b>	<b>59.7%</b>	<b>30,794</b>	<b>61.4%</b>	<b>110.7%</b>
現金及び預金	12,537	26.9%	16,359	32.6%	130.5%
棚卸資産	7,511	16.1%	8,135	16.2%	108.3%
<b>固定資産</b>	<b>18,764</b>	<b>40.3%</b>	<b>19,349</b>	<b>38.6%</b>	<b>103.1%</b>
有形固定資産	10,424	22.4%	10,694	21.3%	102.6%
無形固定資産	272	0.6%	246	0.5%	90.4%
投資その他の資産	8,067	17.3%	8,408	16.8%	104.2%
<b>総資産</b>	<b>46,579</b>	<b>100.0%</b>	<b>50,144</b>	<b>100.0%</b>	<b>107.7%</b>
<b>流動負債</b>	<b>5,925</b>	<b>12.7%</b>	<b>6,575</b>	<b>13.1%</b>	<b>111.0%</b>
<b>固定負債</b>	<b>2,899</b>	<b>6.2%</b>	<b>2,813</b>	<b>5.6%</b>	<b>97.0%</b>
<b>純資産</b>	<b>37,754</b>	<b>81.1%</b>	<b>40,754</b>	<b>81.3%</b>	<b>107.9%</b>
株主資本	36,202	77.8%	40,421	80.6%	111.7%
その他の包括利益累計額	1,552	3.3%	333	0.7%	21.5%

➤ 流動比率 :22/5期 469.4% ⇒ 23/5期 468.3%

➤ 自己資本比率 :22/5期 81.1% ⇒ 23/5期 81.3%

# キャッシュ・フロー計算書(連結)

Honeys

(単位:百万円)

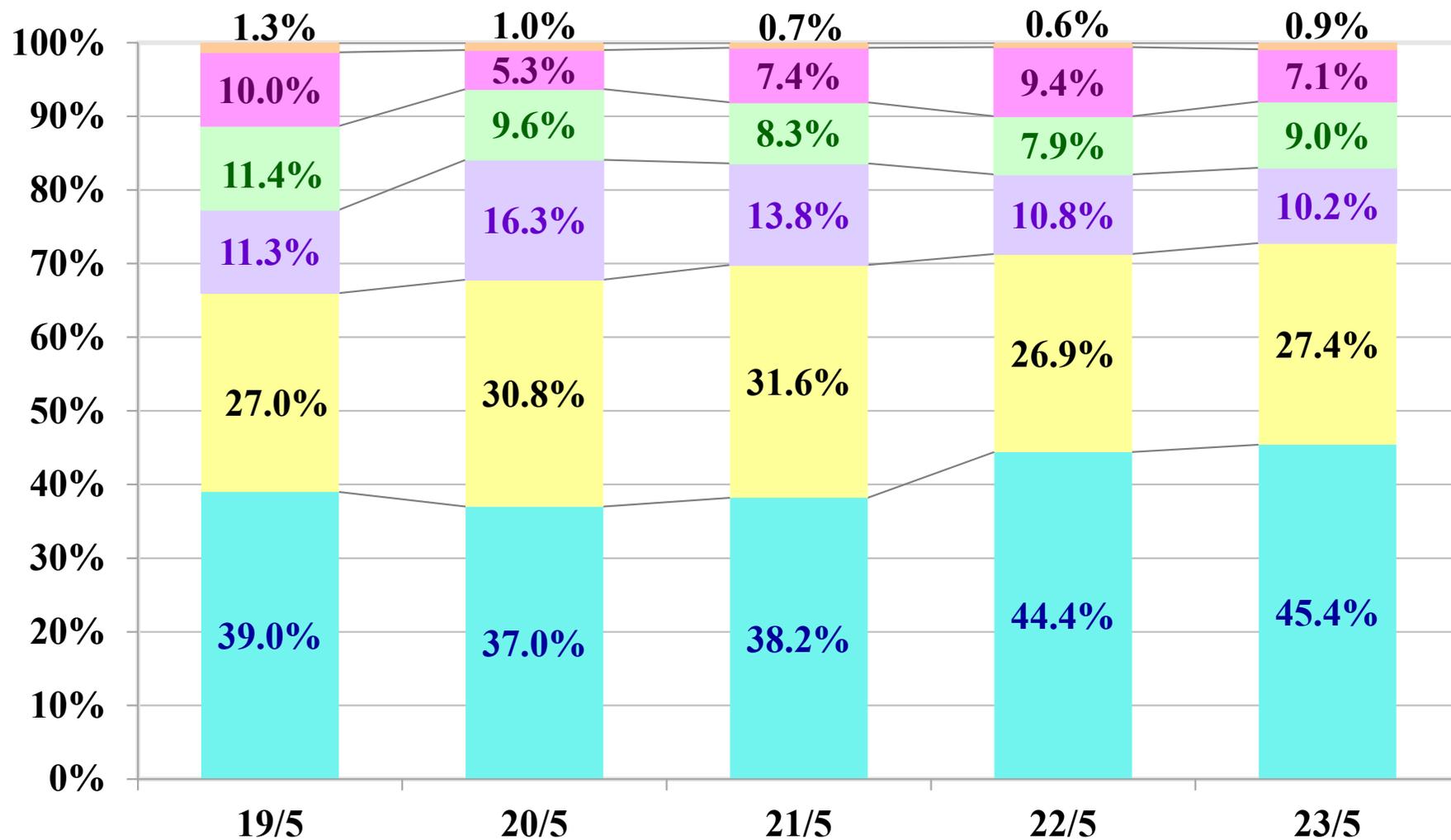
	22/5	23/5	
			増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,213	6,805	4,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,472	▲1,783	689
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲837	▲1,117	▲280
現金及び現金同等物の増減額	▲1,132	3,822	4,954
現金及び現金同等物の期首残高	13,669	12,537	▲1,132
現金及び現金同等物の期末残高	12,537	16,359	3,822

▶営業活動：税金等調整前当期純利益の増加等

▶投資活動：有形固定資産の取得等

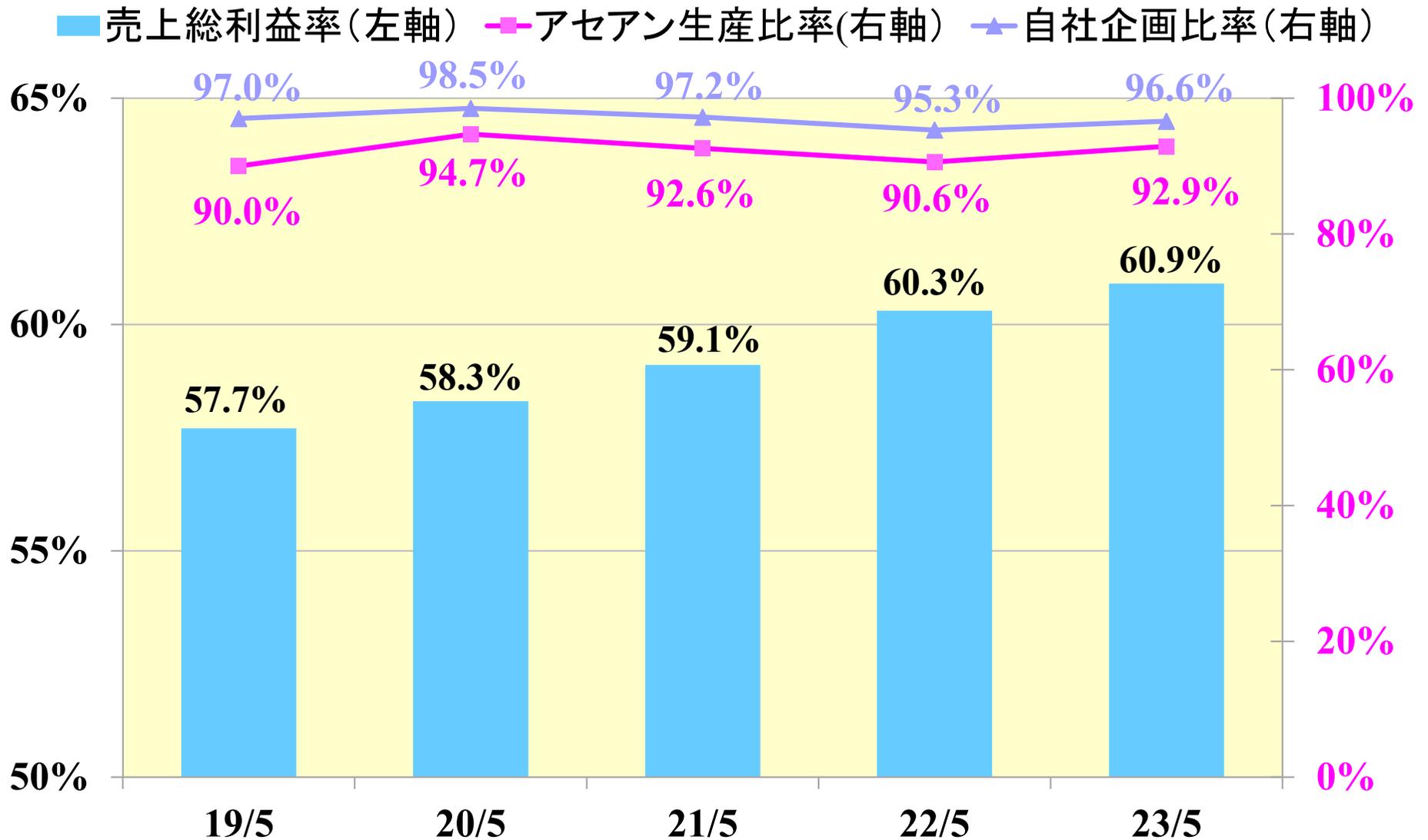
# 生産国別仕入状況(洋服のみ)

Honeys



■ ミャンマー ■ バングラデシュ ■ カンボジア ■ ベトナム ■ 中国 ■ その他(インドネシア・インド・日本)

# 売上総利益率と自社企画比率の推移



(注) 自社企画比率(海外生産)は、概算ベースで記載しております。

2024年5月期方針と業績見通し

## ■日本セクター

- ⇒ 商品企画力の強化と適正価格の追求  
顧客満足度の向上、客層の拡大と深耕、商品品質と価格のバランスの追求。
- ⇒ 売場リフレッシュの継続  
「居心地がよい店舗」を目指し、不振店舗の改善や売場の最適化、商品陳列の高度化を継続。
- ⇒ EC事業の強化  
OMO実現に向け、サービスとお客様の利便性向上を目指す。
- ⇒ サステナブル課題への取り組み  
従業員満足度の向上、引き続き環境配慮型商品の取り扱いを促進。

## ■ミャンマー事業

- ⇒ 原価低減と商品の安定供給を維持。
- ⇒ 品質向上と魅力ある価格実現に向け、自動化設備の導入で生産を合理化。
- ⇒ 第3工場の建設、2023年11月頃竣工予定。本稼働へ向け準備。

## ■業績見通しの前提

- ⇒ 社会経済活動の正常化が一段と進む一方、インフレに伴うコスト上昇圧力は継続。
- ⇒ 物価推移や為替市況の変化等を勘案し、適正な価格設定を柔軟に実施。

## ■売上高

- ⇒ 売上高570億円(前期比103.8%)、増収見込み。
- ⇒ 既存店売上高 前期比102.8%(上期104.7% 下期101.1%)
- ⇒ 需要回復、新規出店(純増5店舗)、既存店改装による底上げ継続。
- ⇒ EC売上高62億円(前期比112.6%)、EC化率10.9%(前期比+0.9%)

## ■出退店計画

- ⇒ 新規出店25店舗、退店20店舗、改装25店舗
- ⇒ 積極的な好立地への移動・増床

## ■売上総利益

- ⇒ 売上総利益343億円(前期比102.6%)
- ⇒ 売上総利益率60.2%(前期比▲0.7%)、上期(同+0.8%)、下期(同▲2.1%)
- ⇒ 円安水準による仕入への影響を見込む。

## ■販管費

- ⇒ 販管費270億円(前期比104.8%)
- ⇒ 人件費は、給与手当等前期比約4%程度増加見込み
- ⇒ 店舗費は、広告宣伝費、水道光熱費等前期比約4%程度増加見込み
- ⇒ その他販管費は、キャッシュレス決済手数料、配送費、減価償却費等増加見込み

# 2024年5月期 業績予想(連結)

Honeys

(単位:百万円)

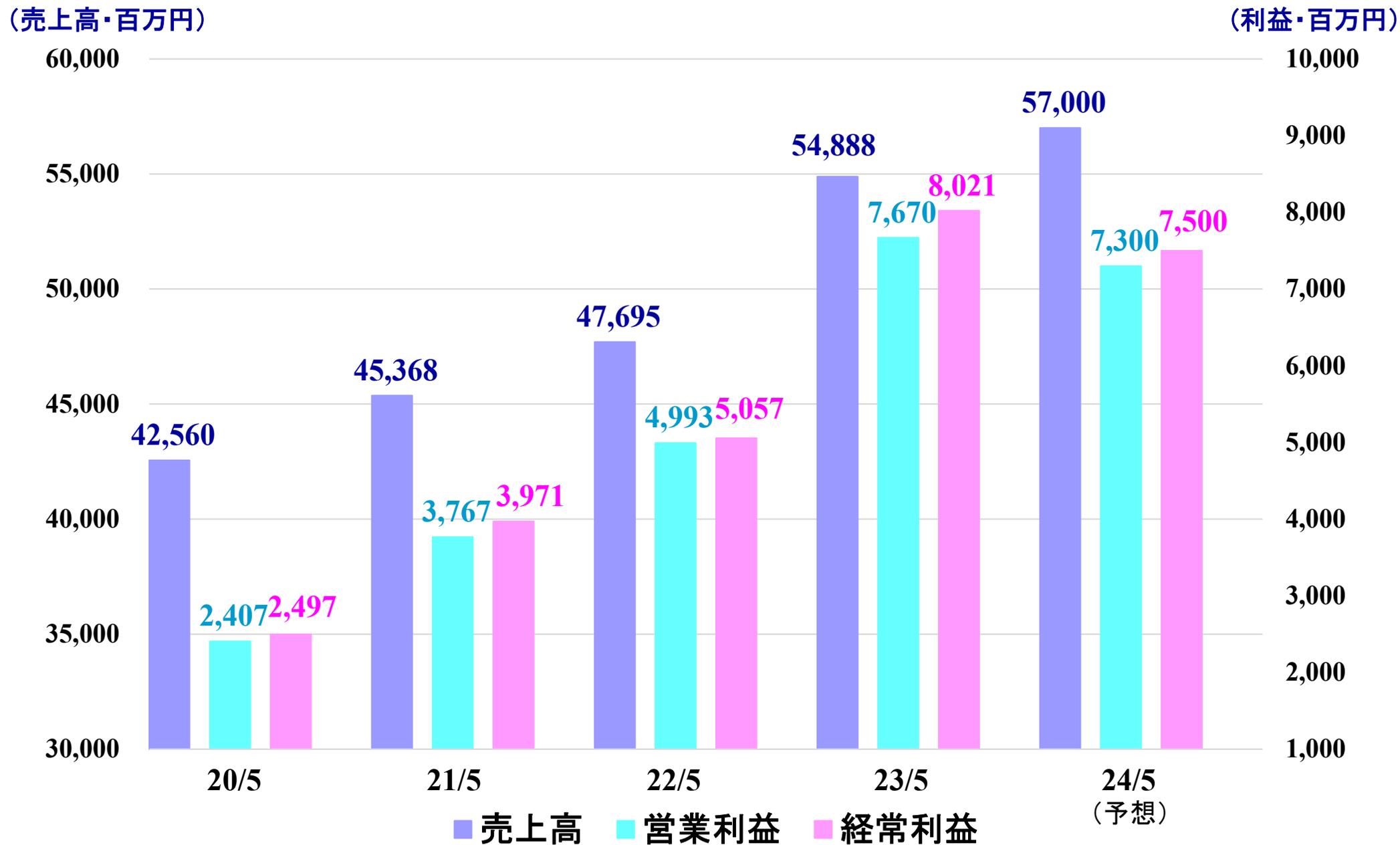
	上期予想			下期予想			通期予想			
	23/5	24/5	前期比	23/5	24/5	前期比	23/5	24/5	増減	前期比
売上高	26,067	27,500	105.5%	28,821	29,500	102.4%	54,888	57,000	2,111	103.8%
売上総利益	15,535	16,600	106.9%	17,896	17,700	98.9%	33,432	34,300	867	102.6%
販管費	12,450	13,400	107.6%	13,310	13,600	102.2%	25,761	27,000	1,238	104.8%
営業利益	3,085	3,200	103.7%	4,585	4,100	89.4%	7,670	7,300	▲ 370	95.2%
経常利益	3,296	3,300	100.1%	4,725	4,200	88.9%	8,021	7,500	▲ 521	93.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,173	2,100	96.6%	3,163	2,700	85.4%	5,336	4,800	▲ 536	89.9%

※年間配当は1株当たり55円(中間配当25円、期末配当30円)を予定しております。

なお、前回の年間配当は1株当たり50円となっております。

(注)特別損失として、固定資産除却損108百万円、減損損失80百万円等、計189百万円を見込んでおります。

# 売上高・営業利益・経常利益の推移(連結) **Honeys**



# 2024年5月期 設備投資計画

(単位:百万円)

	23/5		24/5(予想)		
		構成比		構成比	前期比
日本セクター	1,564	99.4%	2,500	58.1%	159.8%
ミャンマー子会社	8	0.6%	1,800	41.9%	—
合計	1,573	100.0%	4,300	100.0%	273.3%
減価償却費	1,030	—	1,200	—	116.5%

▶ 出店計画：国内新規出店25

# Honeys

株式会社ハニーズホールディングス

---

2023年5月期-2025年5月期（3カ年）中期経営計画  
ローリング2023

“HONEYYS 2.1 NEXT STEP”

## ■ 経営理念

私たちは、  
いつもお客様の信頼を大切にします。

私たちは、  
いつも「高感度・高品質・リーズナブルプライス」を  
追求します。

私たちは、  
いつもお客様の「声」に真剣に向き合います。

## ■ 経営ビジョン

あらゆる方々が、いつでも、どこでも  
「 **Honeys** 」にふれることができる♪

## 経営方針

お客様満足度の  
さらなる向上を目指します。

従業員満足度の向上を目指します。

環境への配慮、  
地域社会への貢献に取り組みます。

## 中期経営計画の骨子

4つの「X」を切り口に、

今後3カ年の「ハニーズ」を構築していく

### 1. ハニーズのCX(カスタマー・エクスペリエンス:顧客体験価値)

- 商品力の強化「より良い商品」
- 販売力の強化「居心地のよい店舗」
- EC事業の強化「OMOの実現」

### 2. ハニーズのDX(デジタル・トランスフォーメーション)

- 事業基盤の強化、生産性の向上につながる業務の効率化
- OMO実現に向けた物流機能の強化

### 3. ハニーズのEX(エンploy・エクスペリエンス:従業員体験)

- 多様な人材の確保と常に成長していける環境づくり
- 従業員満足度の向上

### 4. ハニーズのSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)

- サステナブル課題(環境、人権等)への取り組み

## 1. ハニーズのCX(カスタマー・エクスペリエンス:顧客体験価値)

2023年5月期実績	2024年5月期計画	2025年5月期計画
<b>■商品力の強化</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズ展開の拡充 (SS、LL、3Lサイズの投入)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SS、LL、3Lサイズ商品の投入強化</li> <li>・ユニセックス商品の投入開始(秋頃を予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニセックス商品強化店舗を拡大</li> </ul>
<b>■販売力の強化・EC事業の強化(OMO)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売場リフレッシュ継続</li> <li>・既存店の底上げ継続 (好立地への移動・増床)</li> <li>・OMOの実現に向けた店舗受取の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売場リフレッシュ、既存店の底上げを継続</li> <li>・全店舗にスマートフォン導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売場リフレッシュ、既存店の底上げを継続</li> <li>・店舗スタッフによるスタッフスタイリング等、店舗からのさまざまな情報発信を強化(SNS等)</li> </ul>

## 2. ハニーズのDX(デジタル・トランスフォーメーション)

2023年5月期実績	2024年5月期計画	2025年5月期計画
<b>■業務のデジタル化</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事労務</li> <li>→煩雑な業務の改善に向けシステム導入</li> <li>→ペーパーレス化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全店舗にスマートフォン導入</li> <li>→電子帳簿保存法等への対応と業務効率化</li> <li>→情報発信等販促活用を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン導入による改善点や効率化の検証</li> <li>・その他活用方法の模索</li> </ul>
<b>■物流センター機能強化</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流機能の強化を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗への商品投入体制の強化ならびにEC事業のさらなる拡大にむけ既存センターの増築(秋頃着工予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流センター増築部分竣工・稼働</li> <li>・作業効率化のためのロボット等導入検討</li> </ul>

### 3. ハニーズのEX(エンプロイ・エクスペリエンス:従業員体験)

2023年5月期実績	2024年5月期計画	2025年5月期計画
<b>■従業員満足度の向上</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員アンケート実施</li> <li>・給与ベースアップ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員割引制度拡充</li> <li>・資格試験補助・福利厚生制度の拡充</li> <li>・給与ベースアップ実施等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福利厚生制度の拡充</li> <li>・給与ベースアップ実施等</li> </ul>
<b>■女性管理職比率</b>		
・35.7%(2023年5月)	・37%を目標	・40%を目標
<b>■職場環境改善</b>		
・DX、業務のデジタル化による業務効率化を図る	・【継続・精度アップ】DX、業務のデジタル化による業務効率化を図る	・【継続・精度アップ】DX、業務のデジタル化による業務効率化を図る

## 4. ハニーズのSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)

2023年5月期実績	2024年5月期計画	2025年5月期計画
<b>■サステナブル対応</b>		
・サステナビリティ委員会 設置	・TCFD提言への賛同表 明 ・情報開示	・情報の継続開示
<b>■サステナブル商品</b>		
・27%	・35%を目標	・40%を目標
<b>■ミャンマー自社工場</b>		
・働きやすい環境も考慮し た第3工場の建設 ・継続的な第三者機関の 監査	・第3工場の竣工 ・従業員の働きやすい環 境づくり	・太陽光パネル設置等の 検討

## 5. 新たな取り組み

2024年5月期 - 2025年5月期計画

### 【主要都市の駅ビル・ファッションビルへの出店に向けた取り組み】

#### ■コンセプト

- ・新たな顧客を開拓するため、既存ブランドである「グラシア」等の主力商品に加え、さらにデザイン性の高い商品を取り揃える。

#### ■ターゲット層

- ・30代から50代の働く女性

#### ■出店検討先

- ・主要都市の駅ビル・ファッションビル  
坪数30坪前後(通常のハニーズ業態は70坪～80坪が標準)

2023年5月期 - 2025年5月期(3カ年)  
経営数値目標(連結)

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
売上高	548億円	570億円	600億円
営業利益	76億円	73億円	80億円
営業利益率	14.0%	12.8%	13.3%
ROE	13.6%	11.3%	11.6%
EC売上比率	10.0%	10.9%	12.0%

## 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている株式会社ハニーズホールディングスの将来に関する見通しは、過去の事実ではないために不確定になるリスク要因を含んでおります。

従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ということをご了承ください。

## その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

# (ご参考)ブランドコンセプト

ブランド	コンセプト・年代
<p>グラシア(GL)</p> <p>大人系(36%)</p> 	<p>■大人の女性のためのおしゃれ着ブランド ＜メインターゲット 25歳～45歳＞</p> <p>きれいめ大人カジュアルから、かっちり系まで大人の女性に向けた着まわしやすさと質感を重視して提供します。</p>
<p>シネマクラブ(CC)</p> <p>ベーシック(33%)</p> 	<p>■普段着からお出掛け着まで様々な用途にお応えするノンエイジブランド</p> <p>シーズンを通して定番的に着ることができるコーディネートに必須のベーシック商品を、クオリティにこだわった安心感ある素材で、幅広い年代向けに提供します。</p>
<p>コルザ(CZ)</p> <p>ヤング系(31%)</p> 	<p>■流行に遊び心を加えたヤングカジュアルブランド ＜メインターゲット 15歳～35歳＞</p> <p>ファッショントレンドを大事にする女性のためのブランド。 流行に敏感な女性にも対応できる商品を取り揃えます。</p>

# (ご参考)ブランド紹介

Honeys

GLACIER



大人の女性のためのおしゃれ着ブランド

ボリューム袖ブラウス…………… 1,980円  
多釦ストレートパンツ…………… 2,680円

CINEMA CLUB



様々な用途にお応えするノンエイジブランド

フリル袖Tシャツ…………… 980円  
麻混ガウチョパンツ…………… 2,680円

COLZA



流行に遊び心を加えた  
ヤングカジュアルブランド

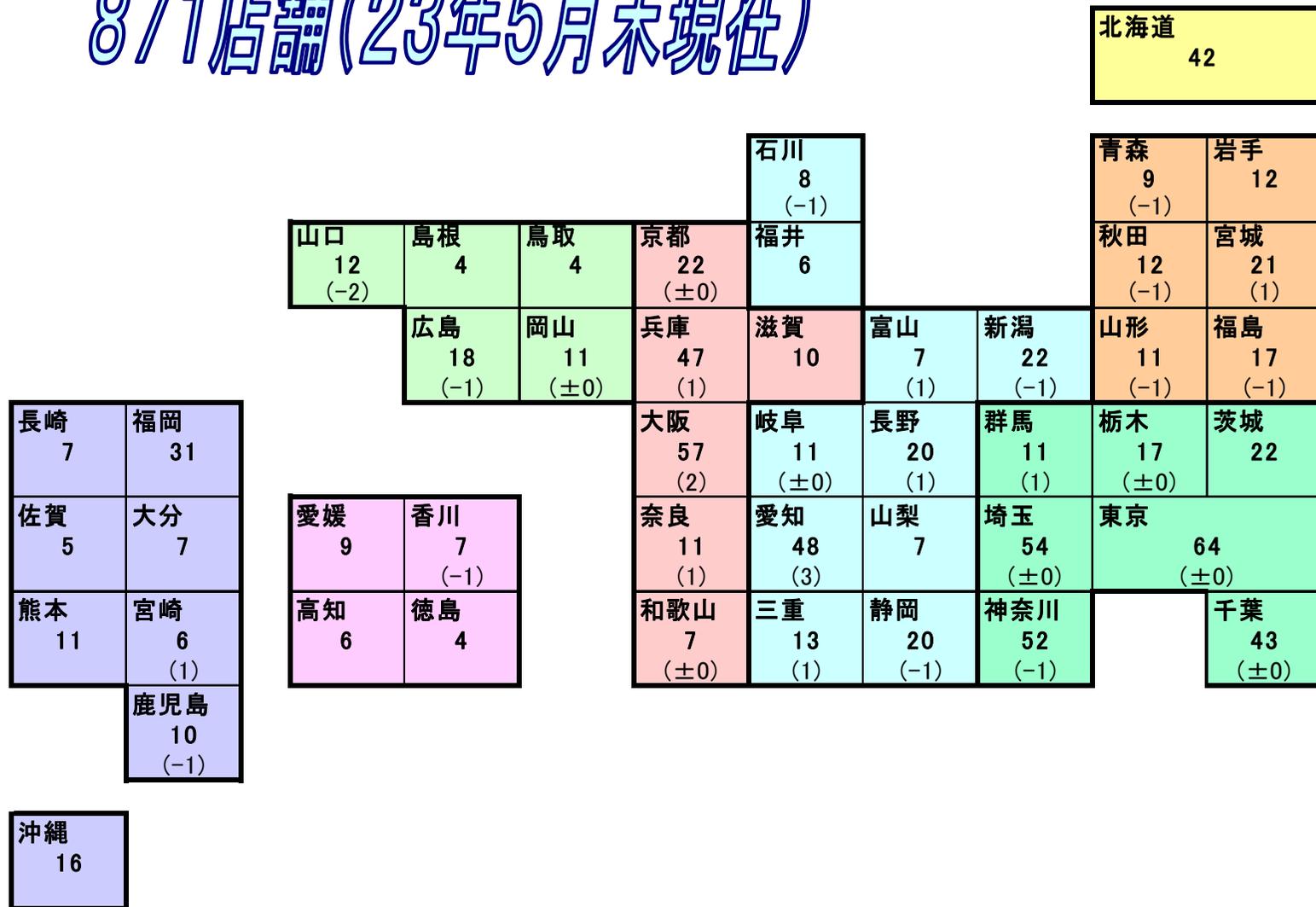
シアーシャツ…………… 1,980円  
カップ付キャミソール…………… 1,480円  
ショートパンツ…………… 1,980円

# (ご参考) 店舗網(国内)

## 871店舗(23年5月末現在)

地域	店舗数
北海道	42 (―)
東北	82 (−3)
関東	263 (±0)
北陸・中部	162 (+3)
近畿	154 (+4)
中国	49 (−3)
四国	26 (−1)
九州	93 (±0)
計	871 (±0)

23年5月末現在



(注) 括弧内は22年5月末からの増減数  
26店舗出店、26店舗退店 「増減なし」

# (ご参考)最近の店舗紹介

Honeys



ハニーズ イオンモール豊川店(愛知県)



ハニーズ イオンモール京都五条店(京都府)

# (ご参考)最近の店舗紹介

Honeys



ハニーズ なんばウォーク店(大阪府)



ハニーズ コクーンシティ店(埼玉県)